

やまゆり ニュース

vol.35

2021
10

麻生市民交流館やまゆり



みんなでつくる、 みんなのための「やまゆり」



「やまゆり」は
ボランティアで
運営されています

地域住民の皆さんに親しまれている麻生市民交流館やまゆり。この市民活動の拠点の管理・運営が、市民ボランティア組織の手によって行われていることを、あらためてお伝えしておきたいと思います。施設を所有している川崎市と契約を結んで管理、運営にあたっているのは、認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター（サポセン）。さまざまな市民活動を、同じ地域の仲間が支えているというわけです。

そのサポセンを後押ししているのが、個人・団体の正会員・賛助会員の皆さんで、会費は、「やまゆり」の会議室やサロンの環境改善、情報化の推進、イベント機材の充実など、施設運営や利用環境の向上に使われています。また、日常的な運営や窓口対応は、公募によって集まった運営スタッフが交代で行っています。こうした施設を、行政や企業などではなく、同じ地域の仲間がボランティアで運営していくという形は、全国でも珍しいのではないのでしょうか。

サポセンには
運営に関する各種委員会や会議
情報化推進の「ICT/HP委員会」
広報紙発行を担う「区民記者クラブ」
・音響・照明などの技術集団「やまゆりテック」

などの部門があり、ボランティアたちがそれぞれのキャリアを生かすなどして、日々積極的に取り組んでいます。サポセンの会員は随時、また運営スタッフは年に一回の募集を行っており、スタッフ募集はこの秋にも行われます。「やまゆり」の仲間の輪に、あなたも加わってみませんか。みんなでのための活動拠点をよりよい形にしていきたいでしょう。興味のある方は、ホームページを検索するか、チラシを手にとってみてください。

やまゆりニュース vol.35 目次

4面 コロナ禍でも楽しめる 記者おすすめ4選

- 2面 あつと驚く大眺望
スカイツリーもくっきりと
探す
- 3面 分水嶺を歩く
- 4面 朝採れ野菜はいかが
ストレスをなくし食欲を
満たす野菜づくり
- 4面 2022年度 区民講師募集
おうち時間もまた楽し！
限りなく愛しいキミたちへ

あっと驚く大眺望

A

スカイツリーもくっきりと —記者のお勧め散策コース



住宅街の向こうに広がる新宿高層ビル群の展望

ろがあるのだ。

近隣の住宅街越しに彼方に
広がるのは新宿や丸の内の高

百合ヶ丘駅から弘法の松交差点を経て団地坂上方面へと向かうバス道路。最後は長い上りだが、眺望を楽しみに頑張ろう。坂を上り切って、生田南郵便局前交差点の四叉路を道なりに左へ進み、原店前バス停を過ぎて南生田方向へ真っすぐ行くと、間もなく右側に東京が見えてくる。家やマンションが並び、見晴らしのいい場所は少なくなったが、それでも、東京が一望のもとに見渡せるところ

コロナ禍で何をするのもままならない中、気軽に楽しめるのが近場の散策。王禅寺西に住む記者のお勧めコースのひとつが東京方面の大眺望が楽しめる高台の道だ。



スカイツリーも見える

のスムークも、はるかな空に見ることができた。

大眺望は他にも。そのまま真つすぐいくと、「春秋苑」の脇道からは東京の西部が一望できるし、団地坂上への坂の途中では、丹沢や奥多摩の山なみが目の前に広がる大パノラマも楽しめる。麻生区の道はアップダウンがきついが、坂を頑張って上れば、ご褒美があちこちで待っているのだ。

も東京タワーも。晴れていれば、都心の眺望が遮るものなく、くつきりと楽しめる。角度を変えれば、武蔵小杉や横浜の高層ビル群も。これはまさしく絶景だ。8月下旬には、パラリンピック開幕当日の飛行を控えた「ブルーインパルス」の予行フライトのスマークも、はるかな空に見ることができた。

区民記者 景山茂

探す

分水嶺を歩く



麻生区の中央に多摩川と鶴見川の分水嶺が南北に縦断する。分水嶺を探し麻生区を縦断してみた。

出発はヨネッティ①。小山を切り開き通された尻手黒川線の道路を王禅寺公園にむかう。右手に生田南郵便局への上り坂がある。右手が分水嶺で崖である。その先の四叉路②、右に原店前へと尾根が続く。左手の尾根を上りきり下る途中に「王禅寺見晴らし公園」③という丹沢の山を望む絶景ポイントがある。百合ヶ丘駅に向かう尾根に沿った道を下る。

百合ヶ丘の駅を超え津久井道を新百合ヶ丘に向かう。道路が上りから下りに変わるあたりが分水界となる。左手に急な坂④があり登っていく。左手が崖になり分水嶺は続く。やがて階段となり頂上⑤に着く。振り

返るとたどってきた分水嶺が見渡せ、東に遠く高石神社を望める。

その先千代ヶ丘に入る。平らに広がる地形のきわめてなだらかな凸部を道路が走る。農地や宅地を通り過ぎると左手に坂が現れる。登ると思いがけなく眺望が開けている。勝坂⑥。富士や丹沢の山々を背景に街が望める絶景ポイントだ。

峠を越え坂を下るとトンネル⑦の上になる。なんとトンネルの上が分水界になっているようだ。トンネルは千代ヶ丘から平尾に向かう長い下り坂道だ。ゆるりと右にカーブしながら分水界を追っていく。左手は崖になり向原。やがてゴルフ場にさえぎられ分水嶺の探求は終わる。

雨水は鶴見川か多摩川、どちらに流れていくのか、尾根をたどりながら分水嶺を探し歩くと約6 km。雨水の行方を思いながら麻生区を縦走した。



勝坂、左手に絶景が見渡せる

ストレスをなくし食欲を満たす野菜づくり

筆者は15年余り畑を借りて、ナス、キュウリ、トマトの夏野菜や、大根、ホウレンソウ、小松菜の冬野菜を育て、新鮮な食感を楽しんできた。コロナ禍でも家庭菜園は一人作業であり、3密にならずマスクも不要でお勧めだ。まずはプランターや庭の片隅ではじめよう。

育てる野菜1種類につき20リットルのプランター1個を準備し、肥料入りの培養土を8分目くらい入れる。冬野菜は、大根、ホウレンソウ、小松菜などの種100粒ほどを、重ならないように撒く。種が隠れるまで土をかけ、水をタップリ注ぎ、土が乾いたら水をかける。1週間ほどで芽がでるが、10センチほどに育ったら、元気がいい芽を



新鮮野菜はおいしい
(左からピーマン、ナス、シシトウ、ミニトマト)



ベランダでも大丈夫
(左からスイカ、パセリ、ピーマン)

残し、間引いて食べる。大根は2、3本、ホウレンソウ、小松菜は15本ほどを均等な間隔で残す。追肥は化成肥料一掴みをバラ撒き、株まわりに3センチほど土を足すのがコツ。

庭の場合も育て方はほぼ同じ。撒く種の数に1㎡あたり100粒にすればいい。なお耕したときに鶏糞などの元肥をすき込み、追肥や土かけは同様。土が乾いたら水をやる。

夏野菜は5月に苗を買う。プランターは土を入れ替え苗2本。庭では元肥をすき込み50センチほどの間隔で植える。丈が伸びたら支柱を添え、1回追肥。土が乾いての水やりも同じ。特にプランターの水やりはこまめに。

限りなく愛しいキミたちへ

長引くコロナ禍でペットを飼う人が増えている。ペットに癒されたいと願う人たちが、確かに動物には癒しの力がある。アニマルセラピーと呼ばれ、病院や介護施設で活躍するセラピー犬や猫たちがいい例だ。我が家にも高齢の猫が居るが、このコの癒し効果は絶大だ。

とはいっても「動物は好きだが飼育は無理」という人たちにも色々な楽しみ方がある。まずは動画配信。今やブームなのでペットの動画は巷に溢れている。とくに赤ちゃんの映像は格別。あどけない仕草には笑みがこぼれる。



写真は記者宅の愛猫、ヒトなら80歳超というのに子猫の頃のあどけなさが残る

次は「動物カフェ」。猫たちと触れ合える「猫カフェ」が有名だ。麻生区近辺では、町田、多摩センタ、溝の口に数軒あるほか、乗降客の多いターミナルには猫以外の動物カフェもある。都心勤めの麻生区民も仕事帰りに癒しを求めて立ち寄る人がいると聞く。カフェでは、里親探しをするなど各店工夫を凝らしているのでも「猫カフェ」で検索してみるとおもしろい。今はコロナの感染拡大で店を閉めていたり、料金なども店によって違うので、感染対策も含めて十分に調べて行くことが良いだろう。

最後に、ペットに関心のない人にも心に留め置いていただきたいのが「いらなくなったモノ」として処分されてしまう動物たち。家族の一員として大切に扱われるコがいる反面、引き取り手のいないコたちのたどる運命は奇酷なものだ。川崎市では2019年2月、中原区下平間に「アニマル川崎」という施設を開設して動物愛護の活動にあたっている。全身全霊で私たちに癒してくれる小さな命が一匹でも多く救われることを祈って止まない。

あなたの得意なことを 披露しませんか!

知見 特技 経験 体験

経験豊富な「やまゆり」のスタッフが、開講当日までサポートします!
本講座は11回を重ね、今まで約140人の講師がデビューしています。



←今年度の区民講師公開講座の様子

認定NPO法人あさお市民活動サポートセンターでは、2022年度の区民講師を募集しています。麻生区には素晴らしい技術や経験を持った人たちが多くいるに違いない。その方々に講師になって頂きその特技やノウハウを披露して頂くというのが講座の目的です。たくさんの方の応募をお待ちしています。

Q

区民講師は、何をしますのか?



A

2022年4~7月に、「やまゆり」で講座を開くことができます。講座は一回限定ですが、これをきっかけに、区民サークルなどで継続的に活動する方もいます。

Q

本格的な知識や技術はないのですが…?

A

人よりチョットだけ詳しい話題や技があればOKです。資格も免許も必要ありません。講座開講当日まで、「やまゆり」のスタッフがサポートいたします。



区民講師 応募者説明会

日時: 2021年 **11**月**15**日(月) 18~19時

場所: 麻生市民交流館やまゆり 会議室

応募される方は、募集チラシ裏面の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。チラシは図書館等の配架場所か、やまゆりHP (<https://yamayuri.ne.jp>か右下QRコードより)よりダウンロードください。

申込締切: 2021年**11**月**12**日(金)

【問合せ先】TEL: 044-951-6321 麻生市民交流館やまゆり 区民講師公開講座係



麻生市民交流館やまゆり



ホームページ更新中 ▶▶▶



開館日

月~金 9:30~17:00
平日の夜間 ~20:15
※土・日・祝日も予約をすれば利用可

休館日

年末年始、施設点検日

アクセス

小田急線「新百合ヶ丘」駅南口から徒歩4分

住所

〒215-0021
川崎市麻生区上麻生1-11-5

TEL

044-951-6321

